

ステップ アップ

38号

理事長 兼 院長の新任あいさつ

理事長 水木 寛

平成 28 年 9 月 1 日より医療法人水の木会理事長、下関病院院長に就任致しました。前任の水木泰より職を引き継ぐことになり、多大なる責任を痛感するとともに、身の引き締まる思いです。

私は平成 15 年に鳥取大学を卒業してから、岡山県の精神科病院、総合病院精神科、大学病院精神科で働いてまいりました。私が精神科医となった時分より入院患者さんの地域移行、退院促進支援がしきりに叫ばれるようになっており、日本の精神科医療が転換期にあることを直に感じてきました。当法人においても、下関病院では精神科救急病棟（スーパー救急病棟）の立ち上げにより入院期間の短縮化が進められました。また、外来部門としてクリニックを独立させて、訪問看護やデイケアの充実も図られました。さらに、居宅介護支援事業所及び就労支援事業所を併設することで、患者さんの地域での生活を法人全体で支える体制が整えられてきています。私自身もこの流れを継承しながら患者さんのケアに努めてまいりたいと思います。

一方で 2025 年問題と言われるように、団塊の世代が 75 歳に達する超高齢化社会が目前に迫っています。世界で類をみない社会構造の変化が起こると予測されており、そのような変化

に対応するためには、機能分化と地域連携を通じたきめ細かい医療サービスの提供が重要になります。入院を担う下関病院では、今後も急性期治療と老年期治療が 2 本の柱となりますが、特にこれから急増する高齢患者さんに対応できるよう老年期病棟を再編することは急務です。また、入院が長期化しやすい治療抵抗性患者さんへの治療方法、治療薬の導入も積極的に行う予定です。将来的には、ストレスケアや比較的軽症の患者さんも受け入れることができるような体制、環境づくりも必要になると考えております。クリニックにおいては、専門外来を開設することでより正確な診断と適切な治療を提供し、さらに認知症疾患医療センターとして医療機関や介護サービス提供事業所との連携を一層重視してまいります。これらの機能の充実を図るとともに、当院の強みである医師、看護師、臨床心理士、作業療法士、ソーシャルワーカーといった多職種チームによる治療を継続していくことで、患者さんが希望や自尊心をもって生活できるように当法人でサポートしてまいります。

今後とも地域の医療のために専心努力してまいりますので、何卒変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新事務部長 就任あいさつ

この度、事務部長を拝命し、大変光栄に存じますとともに、責任の重さを痛感し、改めて身の引き締まる思いでいっぱいです。

医療機関を取巻く環境は、今後厳しさを増すことが予想されますが、もとより浅学非才の身にはあまりに荷が重く、また5月に急逝された故藤田暁士事務部長の足元にも及ばないことは十分承知しています。

藤田部長とは僅か半年の短いお付き合いでしたが、机が隣という近さもあり、医療福祉のいろはから教えて頂きました。最初にお会いした時は、体格も立派でやや強面の印象を持ったものの、話してみると心が非常に暖かい人だと気付くのに時間はかかりませんでした。

今でも古くから付き合いのある関係機関の方々や取引先との会話の中には、必ずと言っていいほど藤田部長の話題が出ます。関わっていた皆さんの心の中には生きているのだなあとお実感するとともに、故人に対して恥ずかしくない仕事をしているかと自身に問いかける日々です。

さて、9月1日より水木寛理事長のもと新体制がスタートしました。理事長、常務理事をはじめとし各部署の皆さんの意見をしっかりと拝聴することで、私なりに事務部長として、今後の当法人の進むべき方向性や諸課題を認識し、患者様、地域社会ならびに水の木会グループの発展に最大限貢献できるよう誠心誠意努力してまいります。

今後とも、どうぞ宜しく願い申し上げます。

(事務部長 蜷木 伸一)

新任ドクターのご紹介

なかやま
ひろと
中山
寛人
先生

今年8月より毎週水曜日の午後、地域診療クリニックにて外来業務を始めております。認知症をはじめとする老年期精神疾患・症状を主に診ています。

宇部や北九州でも専門外来をしてきましたが、どこの地域でも認知症の患者さん、その周辺の問題は多いものだと実感しております。

時間的な余裕が出てくれば、詳細な神経心理学的な評価、家族療法・教育的なアプローチも織り交ぜていければと考えています。

精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。

ふじい
まさみ
藤井
正美
先生

9月から非常勤医師として月1回(第3土曜日)ですが、てんかんとパーキンソン病や振戦といった不随意運動症の専門外来をしています。お困りの患者さんがおられましたらお気軽にご相談ください。

また、「人間万事塞翁が馬」と申します。私も人生の禍福をいろいろ経験しましたが、自分のライフワークとできる仕事を喜びとして、「ポジティブ・シンキング」に生きようと思っています。ご支援どうぞ宜しくお願いします。

下関学術講演会

平成 28 年 5 月 26 日

「高齢者うつ病の特徴と治療」

香川大学医学部 精神神経医学講座 教授 中村 祐 先生

長年、アルツハイマー型認知症の生化学的な病態の解明やアルツハイマー型認知症の治療薬などの新薬の研究・開発に取り組んでおられる中村先生をお招きし、今後ますます増加が予想される高齢者のうつ病について、高齢者ならではの特徴と治療をテーマにご講演頂きました。



平成 28 年 8 月 27 日

「『保健医療 2035』・『新福祉ビジョン』における地域医療・福祉の役割」

山口県立大学社会福祉学部 社会福祉学科 学科長 教授 内田 充範 先生

地域では様々な課題が生じ、地域のニーズは複雑化している。ニーズの増加・多様化の中、地域によって課題は異なるため、地域の実情や課題に応じたシステムが求められている。

今まで各機関が個別に対応してきたが、今後は各機関が連携し、包括的に対応していくことが重要になってくる。また、専門職だけの対応ではなく、地域も巻き込み、支援体制が構築されることも同時に期待されている。今回のお話ではシステムだけではなく、それに伴い、人材育成やサービスの質の向上が必要であるとのことだった。

きめ細やかな支援を求められ、私たちの支援の在り方を再度、見直す必要があるのだと感じました。また、どこまで地域のニーズに応えられるのか、その体制づくりができるのか、これが課題なのだと思います。

(精神保健福祉士 永島 美幸)



行事報告



夏祭り

平成 28 年 8 月 26 日に夏祭りを開催しました。

今年は平日の金曜日に開催したにも関わらず、多くの地域の皆様にご来場いただき、例年以上の盛り上がりとなりました。出店は昨年と比較して品数や種類の変更を行いましたが、行列の出来る出店もあり、ほとんどの出店が早々に売り切れとなる光景がみられました。

毎年恒例の馬関連平家踊り保存会の皆様による公演では、大迫力の平家太鼓の演奏も伴って、大変盛り上がり良かったと地域の方々よりご感想を頂きました。当院の夏祭りは地域の皆様とふれあう貴重な機会として、重要な恒例行事となっており、学生ボランティアや地域の皆様のご協力のもと、当初の目的が果たせたのではないかと考えています。

最後に、今年も多くの企業や各団体の皆様からのご協賛を頂きましたことを厚く御礼申し上げます。

(夏祭り実行委員長 衛藤 隆浩)

(株)岩多屋様 栄食メディックス(株)様 (株)大林組様 キングラン中四国(株)様
 (株)タカラ様 西日本医療サービス(株)様 松田清掃(株)様 ミツヤ工業(株)様
 リコージャパン(株)様 (有)華企画様



つなげよう！スタッフのわ 連載 21回

スタッフでつなげる、趣味のはなし。

事務部

今回は 田中 亜衣子 さんです。

私の趣味はトランペットです。

小学生の頃から吹奏楽部に所属し続けてきました。

2 年程吹くのをやめていましたが、今年一般の楽団に所属し、

またトランペットを吹き始めました。

最近では様々な演奏会のイベントにも参加していますので、見かけた際は聴いていただければ嬉しいです。



メディカルアシスタント

次回は 古谷 綾乃 さんです。

編集後記

暑い時期も過ぎ、だんだんと肌寒い季節となってきました。11 月頃からインフルエンザの流行も予想されています。

手洗い・うがいをし、体調管理には気をつけて、気持ちよく新年を迎えましょう。

(広報委員 中本 大介)

下関病院 広報委員会

山口県下関市富任町 6 丁目 18 番 18 号

T E L : 083-258-0338

F A X : 083-259-8876

ホームページ : <http://www.mizunoki.jp>



下関病院は
日本医療機能評価機構
認定病院です。

水の木会

検索